

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都東久留米市中央町 2-3-57
園名	こでまり保育園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

『鳥』（5歳児クラス）

<テーマの設定理由>

- ・園庭に巣を作ったつばめの様子を日々観察し、気に掛ける様子が見られたため。
- ・身近な生き物を通し、子ども1人1人の興味、関心、疑問を話し合う中で友達同士の関わりを深めるため。

### 2. 活動スケジュール

1. つばめについてグループで話してみる。(10月)
2. 鳥は何をエサにして食べているか公園で観察・探してみる。(11月)
3. カメラを使用し、鳥を撮って観察してみる。(1月)
4. 自分の想像する鳥のエサを紙粘土で作ってみる。(3月)
5. 紙粘土で制作した鳥のエサを、絵具を使って塗ってみる。(3月)
6. 個々に制作した鳥のエサを作品展に展示し、みる。(3月)

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

#### 【環境設定】

- ・クラス内での話し合い時は、個々の発言を子どもたち同士で繰り返されるようクラス内を2グループに分け行き、職員の配置を考え配置しメモを取るようにした。活動後職員同士でのすり合わせを行った。
- ・1人1人の疑問や興味、関心をクラス全体で把握しながら活動できるよう配慮した。

#### 【準備物】

- ・紙粘土・絵具・筆・パレット・鳥の図鑑

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・園庭に巣を作っているつばめを日々観察していたため、つばめはどこからエサを持ってくるのか、何がエサなのかをグループに分かれ話し合ってみた。そこからさまざまな鳥への興味や疑問が話し合いの中から広がり、鳥を公園に観察しに行った。
- ・鳥を公園に観察しに行き、飛んでいる様子やエサを探している様子を見る。また、公園内でエサかなと思う実や虫を見つけカメラにおさめておいた。
- ・どんなエサが公園にはあったかクラス内で話し合った後、1人1人が想像したエサを紙粘土を使用し形を作った。
- ・制作した紙粘土のエサに、絵具を使用し色付けをした。絵具にない色は、自ら混色し色を作り色付けをした。
- ・作品展に展示し、1人1人が制作したエサをエサの名前とともに展示し、それぞれの考えたエサを見る機会を設けた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

日々観察していた身近なつばめを活動内容に取り入れたため、普段から疑問に感じていたことを発言出来る姿が見られた。また、クラスをグループに分け話し合う機会を設けたことにより、1人1人の発言をお互いに聞き入れながら自分の意見や疑問を話せる姿がとて多く見られた。

また、その中でつばめや鳥について『人と鳥はどっちが速いのか』、『鳥には羽があるけど人間にないのはどうしてか』、『エサは誰がとってくるのか』、『近くに鳥がいなければ、エサをまけばいいんじゃないか』など話し合うごとに様々な表現方法で発言する姿が見られ、子どもたち同士で『じゃあ、～すればいいんじゃない』など提案しあう様子が見られた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

最初のグループでの話し合いの活動時から、積極的に意見を出し合う様子や疑問に感じたことを友達同士で話す姿が見られ、友達と活動する楽しさを感じられているなど感じるとともに全体的に集団での活動に意欲的に参加出来ているなど感じました。

また、個々が想像したエサを紙粘土で表現する際には大きなものを1つ作り上げる子、ちいさいものをたくさん作る子など思い思いに想像しているエサを、集中し作り上げる様子が印象的でした。絵具で色付けする際には、どう塗ったら色が混ざらずに塗れるか、細かい部分は筆をどう使って塗ればいいのかなどを考えながら塗る様子や、絵具にない色を使いたい時には何色を混ぜたら新しい色が出来るかなどを考えながら取り組めていました。完成した作品を見て、子ども同士で話す姿が見られ達成感を感じている姿に子どもの何気ない気づきに今後も目を向け、取り組めていけたらいいなど感じました。